

様式第1 (第5条関係)

第一種指定化学物質の排出量及び移動量

事業所で所得している個別郵便番号ではなく、地域で通常用いられる番号を記入します。

〇〇大臣 (北九州市長) 殿

届出者 (ふりがな) 住所 〒800-0000
ふくおかけんきたきゅうしゅうしとぼたく〇〇まち
 福岡県北九州市戸畑区〇〇町1-1
 氏名 〇〇かぶしきがいしゃ
 〇〇株式会社
だいひょうとりしまりやくしゃちょう
 代表取締役社長 〇〇 〇〇
 代理人 こうじょうちやう
 〇〇工場長 〇〇 〇〇

・主たる業種を所管している大臣を記入します。
 ・カッコ内は北九州市長とします。

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(昭和六十三年四月十九日法律第百八号)の規定により、第一種指定化学物質の排出量及び移動量について

・届出日現在の情報を記入します。
 ・本社の代表者名で届出が必要です。(ふりがなを忘れずに)
 ・代理人が届出をする場合は、代表者の下に代理人の役職・氏名を記入します。

事業所	(ふりがな) 〇〇かぶしきがいしゃ
事業者の名称	〇〇株式会社
法人番号	*****
前回の届出における名称	
(ふりがな) 〇〇こうじやう	
事業所の名称	〇〇工場
前回の届出における名称	
事業所の所在地	〒 ー 都道 市区町村
(ふりがな)	
把握される従業員	
業種	業種コード
主たる事業	〇〇〇〇
従たる事業	
第一種指定化学物質の排出量及び移動量	別紙番号 1 ~ 〇 のとおり
本届出が法第6条第1項の請求に係るものであることの有無 (該当するものに〇をすること)	1. 有 2. 無
担当者	部 署 〇〇課
(問い合わせ先)	(ふりがな) 〇〇 〇〇 氏 名 〇〇 〇〇
	電話番号 093-****-****
	電子メールアドレス *****@*****
※受理日	年 月 日
	※整理番号

表内 (担当者欄を除く) は、把握年度の4月1日現在の情報を記入します。

「前回の届出における名称」は前回の届出と変更がある場合のみ、記入してください。

別紙の枚数を記入します。

- 備考1 本届出書は、事業所ごとに作成すること。
 2 法人番号の欄には、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律(平成25年法律第27号)第2条第15項に規定する法人番号がある場合は、当該法人番号を記載すること。法人番号がない場合は空欄とすること。
 3 前回の届出における名称の欄は、変更された場合のみ記載すること。
 4 事業所において常時使用される従業員の数の欄には、前年4月1日現在(前年度中に事業を開始した事業者においては事業を開始した日)における当該事業所の人数を記載すること。
 5 事業所において行われる事業が属する業種の欄には、当該事業所における主たる事業が属する業種を最上欄に記載し、二以上の業種に属する事業を行う事業所にあつては、次欄以降にその他の業種を記載すること。
 6 担当者の欄には、当該届出に係る当該事業所の担当部署並びに氏名及び連絡先を記載すること。
 7 ※の欄には、記載しないこと。
 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 9 本届出書に記載された情報の同一性を失わない範囲で当該情報を記録する機能を有する二次元コードであつて、日本産業規格X0510に適合するものを記載することができる。

(二次元コード記載欄)

別紙番号

化学物質の管理番号が
若い順に記入します。

第一種指定化学物質の名称並びに排出量及び移動量

第一種指定化学物質の名称		トルエン									
第一種指定化学物質の管理番号		300					単位 kg mg-T E Q (ダイオキシン類の場合)				
排出量	イ 大気への排出					1	4	0	.	0	排出先 (例) 135 → 140 23.4 → 23
	ロ 公共用水域への排出					0	.	0			
	ハ 当該事業所における土壌への排出(ニ以外)					0	.	0			
	ニ 当該事業所における埋立処分					0	.	0			
移動量	イ 下水道への移動					0	.	0	埋立処分を行う場所 (該当するものに○をすること)		
	ロ 当該事業所の外への移動(イ以外)					5	.	4			
当該第一種指定化学物質を含む廃棄物の処理方法又は種類		廃棄物の処理方法 (該当するものに○をすること) 01 脱水・乾燥 04 中和 02 焼却・熔融 05 破碎・圧縮 03 油水分離 06 最終処分 廃棄物の種類 (該当するものに○をすること) 01 燃え殻 10 動植物性残 02 汚泥 11 動物系 03 廃油 12 ゴムくず 04 廃酸 13 金属くず 05 廃アルカリ 14 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず 06 廃プラスチック類 15 鉱さい 07 紙くず 16 がれき類 08 木くず 17 ばいじん 09 繊維くず 18 その他									
※整理番号											

有効数字は2ケタです。
(例)
135 → 140
23.4 → 23

ゼロの場合は
「0.0」と記入します。

移動量の「ロ」の欄が
ゼロでない場合は、「廃棄物の処理方法」と「廃棄物の種類」の少なくともどちらか一方を必ず選択し、該当部分に○を付けます。

- 備考 1 特定第一種指定化学物質についても本別紙を用いること。
 2 本別紙は、第一種指定化学物質ごとに作成することとし、別紙番号の欄には、第一種指定化学物質の管理番号の順に付した通し番号を記載すること。管理番号は「P R T R届出の手引き」を参考とすること。
 3 第一種指定化学物質の名称の欄には、令別表第一に掲げる名称(令別表第一に別名の記載がある第一種指定化学物質にあっては、当該別名)を記載すること。
 4 第一種指定化学物質の管理番号の欄には、当該第一種指定化学物質の管理番号を記載すること。管理番号は、「P R T R届出の手引き」を参考とすること。
 5 排出量及び移動量の有効数字は2桁とすること。ただし、ダイオキシン類以外の第一種指定化学物質にあっては、排出量又は移動量が1kg未満の場合、小数点以下第2位以下を四捨五入して得た数値を記載することとする。
 6 公共用水域への排出がある場合、排出先の河川、湖沼、海域等の名称の欄には排出先の名称を記載すること。
 7 下水道への移動がある場合、移動先の下水道終末処理施設の名称の欄には、排出した下水の処理が行われる施設の名称を記載すること。
 8 ※の欄には、記載しないこと。
 9 本別紙に記載された情報の同一性を失わない範囲で当該情報を記録する機能を有する二次元コードであって、日本産業規格 X 0 5 1 0 に適合するものを記載することができる。

(二次元コード記載欄)